

平成 19 年度化学物質の環境リスクに関する 国際シンポジウムについての考察等

1. アンケート結果について

(1) シンポジウム 1 日目 (基調講演、パネルディスカッション)

シンポジウム 1 日目は 203 通のアンケートを回収した。

- ・ 基調講演について、今までの中で最も『大変興味深かった』とした回答率が高く、理解度も高かった。
- ・ 『いろいろな分野の人の考え方を聞くことが出来、興味深かった』、『今回のようなシンポジウムを今後も継続されたい』という意見も頂き、興味、理解度ともに概ね良い評価を頂いたが、一方で『具体的な、一般市民が聞きたい内容が少ない』という意見もあった。
- ・ 前回のシンポジウム(釧路)に比べ、20 代、30 代のシンポジウム参加者が増えている。

(2) シンポジウム 2 日目 (セッション)

シンポジウム 2 日目は 124 通のアンケートを回収した。

- ・ セッションにより若干ばらつきがあるものの、概ね『興味深い』との回答があった。また、理解度の評価も高かった。
- ・ アブストラクトについては『用語集・訳語集をつけてほしい』といった要望があった。
- ・ セッション数、公演時間については、概ね適切であるとの意見であった。
- ・ 2 日目は平日ということもあり、学生が初日より少なかった。

2. シンポジウム全体に関して (今後の改善点など)

- ・ アブストラクト集について、用語集・訳語集を巻末に掲載する、内容をより詳細にするなど、内容の充実を求める意見があり、今後検討する必要がある。
- ・ 当該シンポジウムを更に広く周知し、また、10 代・20 代といった若い世代の参加者を増やす観点から、高校、大学への広報を早めに進めることや、関係分野の大学の研究室へ積極的に広報を行う、といった方法が考えられるのではないか。

- ・今回は、基調講演やパネルディスカッションについて、興味深かったとの回答が多かったが、展示についても、より多くの人に興味の持てる内容にするよう工夫することが重要である。
- ・1日目と2日目の会場が異なったため、わかりにくかったとの意見があった。表示・案内、前日のアナウンスなど、運営面の改善点も今後検討していく必要がある。